

ととのう展

～ヘルスケアにつながる美術館～

2025年4月12日(土)→6月29日(日)予定



見どころ

- ① 美術館で“ととのう”とは？新しい美術館活用を提案する新感覚展覧会。
- ② ダリヤシスレー鑑賞後、カラダに変化は起こるのか！？鑑賞後の健康状態を数値化して検証します。
- ③ “ととのう”瞬間を漫画で楽しもう！「マンガ サ道」の作者であり、ドラマ「サ道」の原作者、タナカカツキ氏による描き下ろし作品展示。

目まぐるしい社会変動のなか、日々のストレスから解放され、自身のココロとカラダの健康を保とうと、私たちの生活は多様な広がりを見せています。例えば昨今のサウナブームや、フィットネスジム市場の成長、健康食品やストレスケア商品のヒット、また、推し活をはじめとしたサブカルチャーや趣味への没頭というライフスタイルも、私たちが日々“潤いのある生活”を求める裏返しとみてとれるかもしれません。

「ととのう展 ～ヘルスケアにつながる美術館～」では、近年の流行語“ととのう”をキーワードに、『美術館からはじめるヘルスケア』を提案する展覧会です。

美術館におけるヘルスケアの可能性について科学的に検証するとともに、19世紀の西洋近代絵画作品での戸外制作背景にみられる非日常や自然への渴望、ダリが描いた天国描写にみる画家と鑑賞者の天国イメージについても触れ、アートを通じた“ととのう”感覚を鑑賞者の皆さまに感じていただきたいと思います。また、本展を通じて新しい美術館のあり方や可能性を考える機会になれば幸いです。

構成

ととのう：Introduction

“ととのう”ためのエクササイズ

流行語にもなった“ととのう”の概念を紹介するとともに、“ととのう”鑑賞体験のための鑑賞前の脳と体のエクササイズを紹介します。眼の簡単なストレッチや頭をやわらかくするクイズ体験、展示室内の目安歩数や消費カロリーの掲示etc.ヘルスケア発想での美術館体験を提案します。

ととのう：第1章

美術品を鑑賞することや美術館利用で得られる健康効果について、世界的に研究が進みつつあります。第1章では、鑑賞体験が健康・ウェルビーイングにもたらす効果の科学的な実証実験の方法やその結果を紹介します。



モーリス・ユトリロ
《モンマルトルのソル通り》1914
公益財団法人諸橋近代美術館

ととのう：第2章

19世紀以降、急速な近代化とともに印象派をはじめとした多くの芸術家が都市部から自然豊かな田舎町に出向き、戸外制作を行いました。その背景には近代化の象徴たる鉄道網の発達やツーリズムの発展による余暇活動が充実したという一面と、都市部中産階級における労働生活の日常化という一面がありました。本章では、印象派をはじめとした戸外制作の画家たちの表現を時代背景から紐解き、画家たちが自然に魅了され、戸外制作に至った経緯を紹介します。

自然を眼前に感じた印象を、画家の“ととのった”瞬間と読み解き、印象派の画家たちの作品を通して、画家の“ととのい”を追体験していただきます。



アルフレッド・シスレー
《積み藁》1895
公益財団法人諸橋近代美術館

ととのう：第3章

究極の“ととのった”体験は天国や極楽と比喻されることがあります。マッサージや温泉で癒された時にその体験を“ごくらく”と表現した経験があるのではないのでしょうか。古今東西、究極の至福は天国や極楽にあると考えられており、その世界はまさに理想郷として、数々の芸術家たちがまだ見ぬ天国世界を描いてきました。

本章では、サルバドール・ダリが描いたダンテ『神曲』天国篇の挿絵版画を引用し、ダンテやダリが想像した天国世界を紹介します。私たちにとって天国とはどのようなところなのか？ダリの天国世界を味わいながら究極の“ととのった”世界を夢想いただければと思います。



サルバドール・ダリ
《ダンテ『神曲』天国篇 第24歌》1960
公益財団法人諸橋近代美術館

ととのう：特別展示

タナカカツキ氏（『マンガ サ道』作者）による『マンガ サ道』の原画展示や、本展のための新規に描き下ろす美術館オリジナル漫画も紹介します。

『マンガ サ道』は、流行語“ととのう”の火付け役にもなりました。“ととのう”とは本来どのような体験であるのかを知ってもらうとともに、サウナ好きも、アート好きも、日々の生活のなかに「潤い」を見つけ、自身のココロとカラダがアートで“ととのう”体験の一端を感じていただく特別展示です。

概要

展覧会名：ととのう展 ～ヘルスケアにつながる美術館～

会 期：2025年4月12日（土）～6月29日（日） | 会期中無休 | 【予定】

時 間：9時30分～17時（最終入館16時30分）

会 場：諸橋近代美術館／福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯1093番23

主 催：公益財団法人諸橋近代美術館

展覧会内容や日程、イベントが変更になる場合があります。予めご了承ください。

広報詳細

広報用画像のご提供

下記画像データを無料でご提供いたします。ご希望の際は下記事項をご記入の上、メールにてご連絡下さい。折り返しご連絡致します。

連絡先 ▶ info@dali.jp / 公益財団法人諸橋近代美術館 広報 宛

(1) 使用希望作品番号 (2) 会社名 (3) 担当者名 (4) 連絡先電話番号 (5) 掲載媒体名・番組名
(6) 発行日・放送日 (7) 発行部数

No.1



アルフレッド・シスレー
《積み藁》1895
公益財団法人諸橋近代美術館

No.2



モーリス・ユトリロ
《モンマルトルのソル通り》1914
公益財団法人諸橋近代美術館

No.3



サルバドール・ダリ
《ダンテ『神曲』天国篇 第24歌》1960
公益財団法人諸橋近代美術館

メディア掲載における読者・視聴者プレゼント用招待券のご提供

情報をご掲載いただきました媒体各社様へ招待券（5組10名様）をご提供します。

ご希望のご担当者様はメールにて当館までご連絡願います。

取材や記事掲載にご協力賜りますようお願い申し上げます。お問い合わせ：公益財団法人諸橋近代美術館 広報担当
e-mail : info@dali.jp tel:0241-37-1088 fax:0241-32-3332
〒969-2701 福島県北塩原村大字桧原字剣ヶ峯1093番23
公式ホームページ <https://dali.jp>